

公立学校共済組合群馬支部保健事業に関するアンケート調査票

I あなた自身のことについておたずねします。

《問1》あなたのことについておたずねします。

(1) あなたの年齢についておたずねします。あてはまる番号を、右枠内に記入してください。

1 29歳以下 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳以上

(2) あなたの性別についておたずねします。あてはまる番号を、右枠内に記入してください。

1 男性 2 女性

(3) あなたの家族状況についておたずねします。あてはまる番号を、右枠内に記入してください。

1 未婚 2 既婚(子供あり) 3 既婚(子供なし)

(4) あなたの居住地区についておたずねします。あてはまる番号を、右枠内に記入してください。

1 中毛地区 2 西毛地区 3 吾妻地区 4 利根地区 5 東毛地区

(5) あなたが勤務する所属所の種類についておたずねします。あてはまる番号を、右枠内に記入してください。

1 小学校 2 中学校 3 高等学校 4 特別支援学校 5 幼稚園等 6 公立大学
7 教育委員会 8 その他

「8 その他」を選択した場合には、具体的な所属所の種類を記入してください。

II 公立学校共済群馬支部保健事業についておたずねします。

支部では、アンケート実施に先立ち、既存事業の評価を行いました。組合員の健康増進等の観点から、基本的には継続実施する方向で考えていますが、各事業の実施内容等について、拡充、変更、縮小等の希望をおたずねするものです。

《問2》既存事業の利用状況について、おたずねします。

以下の1から10までの既存事業(事業内容については、別紙1「事業一覧」を御覧ください。)のうち、昨年度(平成29年度)中に、一度でも利用した事業はありますか。あてはまる全ての番号を、右枠内に記入してください。

1 人間ドック 2 婦人科検診 3 骨密度検診
4 職場の健康づくり支援事業 5 ウォーキンググランプリ
6 教職員カウンセリング 7 宿泊補助(去来荘利用を除く) 8 体育大会助成
9 保育補助 10 生涯生活設計セミナー

《問3》既存事業に対するあなたの意見をおたずねします。

以下の1から10までの既存事業について、御意見がありましたら事業を2つまで選んで、事業及び意見の番号を、右枠内に記入してください。

【1つ目の事業】

1 人間ドック 2 婦人科検診 3 骨密度検診 4 職場の健康づくり支援事業
5 ウォーキンググランプリ 6 教職員カウンセリング 7 宿泊補助(去来荘利用を除く)
8 体育大会助成 9 保育補助 10 生涯生活設計セミナー

1 補助額を増額してほしい 2 対象者を拡大してほしい 3 対象施設を増やしてほしい
4 事業を縮小してほしい 5 その他

「5 その他」を選択した場合には、具体的な意見を記入してください。

【2つ目の事業】

1 人間ドック 2 婦人科検診 3 骨密度検診 4 職場の健康づくり支援事業
5 ウォーキンググランプリ 6 教職員カウンセリング 7 宿泊補助(去来荘利用を除く)
8 体育大会助成 9 保育補助 10 生涯生活設計セミナー

1 補助額を増額してほしい 2 対象者を拡大してほしい 3 対象施設を増やしてほしい
4 事業を縮小してほしい 5 その他

「5 その他」を選択した場合には、具体的な意見を記入してください。

Ⅲ 新規事業に対するあなたの考えをおたずねします。

【質問に答える前に、まず、お読みください】

既存事業の平成29年度決算額は約3億1千万円で、このうち人間ドックが約2億5千万円となっています。人間ドック以外の事業費の合計額は約6,100万円で、このうち75%に当たる約4,600万円は、「去来荘」存続支援のための施設利用補助に充てられていました。

今回の見直しでは、この財源を活用して、平成31年度以降実施する事業を検討することになります。新規事業の導入にあたっては、大きく2つの方向性を検討しています。

1	<p>◎基本事業として、公立学校共済組合本部が一括契約している、(株)ベネフィット・ワンの「アウトソーシング事業」(「福利厚生パッケージサービス」と「健康ポイントサービス事業」で構成)(約2,000万円)を導入し、残額(約2,600万円)は、アンケート結果等を参考に既存事業の拡充または独自の新規事業に活用する。</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施してこなかった多種多様な分野での福利厚生サービスが利用できる。 ・利用対象者が組合員本人、配偶者、それぞれの二親等以内の親族と幅広く、被扶養者でない家族もサービスを利用できる。 ・スマートフォンやパソコンから手軽にサービスを利用できる。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用の有無にかかわらず、組合員数に応じた一定額の費用がかかる。 ・スマートフォンやパソコンの操作に慣れていない・環境が整っていない組合員にとっては利用が難しい。(電話によるサービスを受けることも可能)
2	<p>◎これまでどおり、支部独自の事業(新規事業及び既存事業の拡充)のみを実施する。</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合員のニーズを踏まえた事業を実施できる。 ・必要な事業を実施することで、限られた予算を効率的に活用できる。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた支部の人員体制から、多くの独自事業を企画運営することは困難である。 ・多様な年齢層・家族層、組合員ニーズに対応できる事業を展開することはできない。

以上を踏まえて、以下の質問にお答えください。

(1)アウトソーシング事業(福利厚生パッケージサービス)について

福利厚生パッケージサービスでは、(株)ベネフィット・ワンが運営する「ベネフィットステーション」を利用することで、様々な分野の多様なサービスを利用することができます。

別紙2『福利厚生パッケージサービス「ベネフィット・ステーション」について』でサービスの概要を御覧になってから、次の質問にお答えください。

《問4》あなたは、福利厚生パッケージサービスの導入を希望しますか。

あなたの考えに最も近い番号を、右枠内に記入してください。

1 希望する 2 どちらかといえば希望する 3 どちらかといえば希望しない 4 希望しない
5 わからない

--

《問5》問4で「1 希望する」又は「2 どちらかといえば希望する」を選んだ方におたずねします。

どのカテゴリーに魅力を感じましたか。あてはまる番号を最大3つまで選んで、右枠内に記入してください。

1 旅 2 レジャー・エンタメ 3 リラク・ビューティー 4 出会い・ブライダル 5 生活 6 グルメ
7 スポーツ 8 カー 9 ハウジング 10 育児 11 学ぶ 12 健康 13 介護 14 ショッピング
15 BSオリジナル企画 16 お祝い 17 エネルギー 18 ペット

《問6》問4で「3 どちらかといえば希望しない」又は「4 希望しない」を選んだ方におたずねします。

導入を希望しない理由にあてはまる全ての番号を、右枠内に記入してください。

1 利用したいサービスがない 2 利用できる環境がない 3 利用方法が分かりづらい
4 他社の類似サービスを利用しており、メリットを感じない
5 契約額が高い(経費に見合った利用が見込めない)
6 その他

「6 その他」を選択した場合には、具体的な理由を記入してください。

--

(2)アウトソーシング事業(健康ポイント事業)について

健康ポイント事業は、組合員の皆様の健康づくりに関する自発的な取組にポイントが付与され、貯まったポイントで商品(健康グッズ等)と交換できるサービスです。

別紙3「ハピルス健康ポイントサービス概要」でサービスの概要を御覧になってから、次の質問にお答えください。

《問7》あなたは、健康ポイント事業の導入を希望しますか。あなたの考えに最も近い番号を、右枠内に記入してください。

- 1 希望する 2 どちらかといえば希望する 3 どちらかといえば希望しない 4 希望しない
5 わからない

--

《問8》問7で「1 希望する」又は「2 どちらかといえば希望する」を選んだ方におたずねします。

どのような点に魅力を感じましたか。あてはまる全ての番号を選んで、右枠内に記入してください。

- 1 健康づくりの取組をアプリ(専用サイト)で記録・管理ができる。
2 健康に対する意識が高まり、健康的な生活習慣や運動習慣を身に付けることができる。
3 毎日の歩数がアプリに記録されポイントが付与されることで、運動継続の励みとなる
4 貯めたポイントを商品に交換することができる。
5 その他

「5 その他」を選択した場合には、具体的な内容を記入してください。

--

《問9》問7で「1 希望する」又は「2 どちらかといえば希望する」を選んだ方におたずねします。

本部で一括契約しているアウトソーシング事業を導入しなかった場合、健康ポイント事業を単独でも導入した方がよいと思いますか。あなたの考えに最も近い番号を、右枠内に記入してください。

- 1 希望する 2 どちらかといえば希望する 3 どちらかといえば希望しない 4 希望しない
5 わからない

--

《問10》問7で「3 どちらかといえば希望しない」又は「4 希望しない」を選んだ方におたずねします。

導入を希望しない理由にあてはまる全ての番号を、右枠内に記入してください。

- 1 健康に関心がない人や運動をしていない人の意識や行動を変えさせることは難しい。
2 健康づくりの継続や健康状態の改善に効果があるか疑問である。
3 利用できる環境がない人は参加できない。
4 もっと違う分野の事業を充実してほしい。
5 その他

「5 その他」を選択した場合には、具体的な理由を記入してください。

--

(3)その他の新規事業について

《問11》あなたは、次の事業のうち新規に導入してほしい事業がありますか。

該当する全ての番号を、右枠内に記入してください。

- 1 リゾート施設利用補助(支部が会員となり会員料金で施設を利用)
2 スポーツ施設利用補助(同上)
3 相談機会の拡充(臨床心理士等の派遣や、身近な場所での相談)
4 観劇事業(ミュージカルや歌舞伎等のチケット代金の一部補助)
5 予防接種補助(インフルエンザ等の予防接種費用の一部補助)
6 その他

「6 その他」を選択した場合には、具体的な事業の内容を記入してください。

--

《問12》現在、生涯生活設計セミナーとして、マネープランに関するセミナーを行っていますが、あなたはどのようなセミナーに参加してみたいと思いますか。次の分野の中から、あてはまる全ての番号を、右枠内に記入してください。

- 1 生活習慣病予防(管理栄養士等による食生活改善講座、料理教室等)
2 体力づくり・生活習慣病予防(エクササイズ等の軽運動、体力測定等)
3 がん予防(講義等) 4 ストレス軽減(ヨガ、アロマテラピー等)
5 介護(講義・実技等) 6 育児(講義・座談会等) 7 職員交流(イベント)
8 その他

「8 その他」を選択した場合には、具体的なセミナーの内容を記入してください。

--

IV 共済組合が実施する事業全般について、御意見等・御要望などがありましたら、自由に御記入ください。

○これで、アンケートは終わりです。もう一度、記入漏れがないか御確認ください。

○回答いただいた調査票は、平成30年9月12日(水)【必着】までに、次のメールアドレス又はFAX番号あて提出願います。

・メールの場合 fukushi10@kouritu.or.jp

※件名は「保健事業アンケート回答」としてください。

・FAXの場合 027-243-7840

※送り状は不要です。

御協力ありがとうございました。